

平成15年度

ISCA

伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト

入選作品

主催 伊豆沼・内沼の自然フォトコンテスト実行委員会
(若柳町、築館町、迫町、宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団)
後援 宮城県、若柳町観光協会、築館町観光協会、迫町観光協会、
宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会、
河北新報社、読売新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、岩手日報社
協賛 富士写真フィルム株式会社、宮城県写真材料商組合

入 選 者

各 賞	題	氏 名	住 所
最優秀賞 (宮城県知事賞)	明けの乱舞	庄子光男	宮城県仙台市
優秀賞 (宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団理事長賞)	夕映えのとき	大金由夫	宮城県古川市
金賞 (若柳町長賞)	鴈聲永劫	菅原敏彦	黒川郡大和町
金賞 (築館町長賞)	躍動	篠原善彦	登米郡米山町
金賞 (迫町長賞)	雲の層・鳥の層	萩野幸夫	栗原郡築館町
銀賞 (若柳町観光協会会長賞)	内沼暮色	阿部三彦	宮城県仙台市
銀賞 (築館町観光協会会長賞)	朝の飛び立ち	景山英雄	宮城県多賀城市
銀賞 (迫町観光協会会長賞)	水鳥の咲かせた花	船山陽一	宮城県多賀城市
銀賞 (宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞)	夕映の罅	太田竹一	桃生郡河北町
銅賞 (河北新報社賞)	群翔	千葉稔	登米郡豊里町
銅賞 (読売新聞社賞)	群翔を映す水鏡	千葉忠雄	栗原郡若柳町
銅賞 (朝日新聞社賞)	明るい陽ざしの中で	八木英雄	宮城県仙台市
銅賞 (毎日新聞社賞)	コロニーの朝焼け	伊藤孝喜	登米郡中田町
銅賞 (岩手日報社賞)	群れ	滝沢昭夫	岩手県一関市
入選	伊豆沼讃歌	鈴木正一	宮城県仙台市
入選	夕映え	神山日出夫	宮城県石巻市
入選	陽光乱舞	佐々木幹男	登米郡迫町
入選	夕暮の伊豆沼	伊藤利喜雄	岩手県一関市
入選	燃ゆる湖面	菅原善弘	本吉郡志津川町
入選	凍付く日	武居節子	岩手県一関市

総 評

伊豆沼・内沼写真コンテストの審査を、今年もさせていただきました。今年も沼を訪れる鳥たちの数が多いようで、写真も大空一杯に広がった水鳥の群れを捉えた作品が多くありました。レベルも相当高くて、いい作品が多く集まりました。

いつになく写真的には恵まれた年だったようですが、類似作品が多く、それで幾分損をした作品も多かったように思います。また、夏の風景や春の風景が少なかったのは、とても残念です。湖面を覆うハスや緑の草の風景、湖面上に浮かぶ積乱雲などの風景、雨が水面に波紋を投げかけている風景など、季節の移ろいと共に、繰り広げられる沼のドラマを引き出して欲しいと思います。

来年も、皆さんの力作を期待しています。

フォトコンテスト審査員 竹内 敏 信



1943年愛知県生まれ。名城大学理工学部卒。愛知県庁勤務の後、フリーとなる。主として35ミリ一眼レフカメラを駆使し、鋭利な感覚と的確なテクニックで自然の映像化に挑戦し続ける。風景写真の第一人者として最も人気が高く、多くの写真のコンテストの審査員を務める。写真展、講演会など多数。主な写真集に「花祭」（誠文堂新光社）、「天地」「天地聲聞」「櫻」（出版芸術社）、「天地風韻」（日本芸術出版社）、「雪月花」（トーヨーセブン）（社）日本写真家協会会員
日本写真芸術専門学校副校長
東京工芸大学
現代写真研究所講師



【評】朝焼けの大きに羽ばたく野鳥の群れを望遠レンズで引き寄せて、ダイナミックに捉えています。鳥たちの鳴き声や羽音が、画面の外まで伝わってくるようです。前景の野鳥と、背景の様子が程よいバランスで捉えられていて、朝の伊豆沼の様子が的確に響いています。



【評】夏の風景でしょうか。夕陽が湖面に当たって輝いています。その輝きと釣り人をシルエットに捉えて、沼の黄昏の情感を美しく引き出している作品です。水の輝きがとても美しいところがこの作品の魅力のポイント。



金賞（若柳町長賞）
「鴈聲永劫」
菅原 敏彦

【評】 水から飛び出した雁の群れ。羽ばたきながら鳴いている雁の姿が、美しくダイナミックに捉えられています。大空を飛び立って、はるばる日本までやって来たこの鳥たちの、声が永久に響くようにとの願いが込められているようです。

金賞（築館町長賞）
「躍動」
篠原 善彦

【評】 ブルーストーンの色。まだ、明けやらぬ沼の静寂を縫って、水鳥が飛び出していきます。一日のドラマの幕開けです。色調がとても美しく、ユニークな雰囲気が感じられる作品となっています。



金賞（迫町長賞）
「雲の層・鳥の層」
萩野 幸夫



【評】 朝焼けの大空を、無数の鳥たちが飛んで行きます。その群れはまるで層になっていて、後から後から飛び出していくのです。自然の雄大な姿が感じられ、大空に過去から連綿として続けられてきた悠久のドラマが展開しています。



銀賞（若柳町観光協会会長賞）
「内沼暮色」 阿部 三彦

【評】初冬の夕暮れでしょうか。大陸からやってきた白鳥達が、静かに羽を休めています。風も止み、湖面には静寂が漂って、短い一日が暮れていくのです。そんな雰囲気良く出た作品です。

銀賞（築館町観光協会会長賞）
「朝の飛び立ち」 景山 英雄

【評】一斉に飛び上がった雁の群れを、いいシャッターチャンスで捉えています。鳥たちのシルエットが幾重にも重なって、数多くの野鳥のボリュームを感じさせてくれています。



銀賞（迫町観光協会会長賞）
「水鳥の咲かせた花」 船山 陽一

【評】羽毛が抜けてひらひらと湖面に降り注いで、まるで美しい花のように咲いてくれました。これを花と見立てた視点が面白く、作者の優しい感触が伝わってきます。

銀賞（宮城県伊豆沼・内沼サンクチュアリ友の会会長賞）
「夕映の埒」 太田 竹一

【評】沼に、黄昏の時刻がやってきました。湖面の白鳥もすでに水の中に入って、ここで眠るのでしょうか。画面が静かで美しく、落ちついた風景となっています。



銅賞（河北新報社賞）
「群 翔」

千葉 稔



【評】 群れを成して飛んでいる野鳥の群れを、画面一杯に捉えて迫力を出しています。舞い上がった鳥や、湖面で羽を休める鳥の対比も見事です。

銅賞（読売新聞社賞）
「群翔を映す水鏡」

千葉 忠雄



【評】 縦位置で捉えて、飛び上がった鳥たちの姿が湖面に美しく輝いています。上部をカットして、その分下の水面を入れると、もっと動感が出てきます。



銅賞（朝日新聞社賞）
「明るい陽ざしの中で」

八木 英雄

【評】 逆光で明るく輝く沼の水面にサギが一羽、羽ばたいています。このサギの舞いと、湖面の美しい風景が的確に捉えられています。

銅賞（毎日新聞社賞）
「コロニーの朝焼け」

伊藤 孝喜



【評】 枝の上で羽を休めるサギは、まだ眠っているのでしょうか。鳥たちのシルエットが朝焼けの空に浮かび上がって、朝の到来を告げてくれました。

銅賞（岩手日報社賞）
「群 れ」

滝沢 昭夫



【評】 白鳥たちのクローズアップです。池の辺で、群れをなす白鳥たちの姿を面白く捉えています。逆光ライティングで、鳥たちの姿に立体感を出して捉えています。

入選
「伊豆沼讃歌」

鈴木 正一



【評】 一斉に飛び上がった鴨の群れ。野鳥たちの命の源としての伊豆沼の姿が、生き活きと捉えられています。

入選
「夕 映 え」

神山日出夫



【評】 夕映えの湖面をゆったりと群がる白鳥や鴨の群れを、逆光ライティングで美しく情感を出して捉えています。

入選
「陽光乱舞」

佐々木幹男



【評】 日の出とともに、一斉に飛び上がる鳥たちの姿をダイナミックに捉えています。類型が多く、すこし損をしています。

入選
「夕暮の伊豆沼」

伊藤利喜雄



【評】 夕暮れの空に、薄い三日月が印象的に浮いています。空を三日月ぎりぎりのところでカットして、その分、水面を多く捉えるともっと引き締まってきます。

入選
「燃ゆる湖面」

菅原 善弘



【評】 低い太陽が、大空の雲を茜色に染めています。湖面も同じように染まって、静かに過ぎていく時を感じさせてくれます。

入選
「凍付く日」

武居 節子



【評】 ピンクに染まった白鳥を照らしているのは、朝の太陽なのでしょう。湖面に氷が付着して、寒気を感じさせてくれています。